

# 京大病院 6年前の医療ミス

## 沙織さんの死「真相知りたい」



亡くなる1カ月前に病室で藤井沙織さん(右)と写真におさまる父省二さん(左)と母香さん(中央)＝00年1月

京大病院(京都市左京区)で00年2月、人工呼吸器に消

毒用エタノールを誤注入され

から同病院で入院を繰り返

して。00年2月28日、看護師

時17歳)の両親が、大学と医

師(52)ら9人に総額約1億1

400万円の損害賠償を求め

た訴訟の判決が1日午後、京

都地裁である。沙織さんの死

亡診断書には、誤注入の記載

はなかった。両親は「病院ぐ

るみの事故隠しがあったので

はないか。法廷で事実を明らか

かにしてほしい」と話してい

る。(50は償る。

看護師は業務上過失致死罪  
で有罪が確定したが、担当医  
は虚偽有印公文書作成・同行  
使容疑で書類送検されたもの  
の、「発症していた敗血症の  
ショックと考えた」と弁明し  
不起訴になった。

母香さん(50)は「毎日を必

死で生き、私たちに伝えてく

れた」と話す。死亡前日、血

圧が低下したが、「ママのた

め頑張って」と声をかけると

上昇。好きな曲を歌うと小康

状態に持ち直した。「事故発

覚はその数時間後。闇に葬ら

れぬよう、生き抜いてくれた

と省二さんは話している。

【太田裕之

### 賠償訴訟「隠ぺい」疑う両親 午後判決

京大病院人工呼吸器エタノール事件

民事地裁判決予告

06年11月1日 毎日新聞(大阪)夕刊